

事業評価書

継続事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:古民家等の維持・管理事業(基金)						
補助事業者名	福生市長						
事業主体	福生市						
実施場所	福生市福生1158番地						
継続事業の目的	本市では、祖先の遺した貴重な文化遺産を現代に生かし、さらに未来に伝えることを目的に文化財保護行政を行っているが、市としてかつての福生の生活様式を伝える古民家を有しておらず、従来より古民家を活用した事業を行う必要性を感じていた。 平成25年度に相続の関係から市内の古民家を購入する目処が立ったことから、古民家保存事業(基金)により、市として古民家を購入し、従来からの課題であった市内の生活様式を伝えるための事業に着手し、古民家を活用するとともに、後世に適切な形で残していくために必要となる維持管理を行っていく。						
継続事業の内容	古民家等の維持・管理 (管理人配置、修繕、庭木管理等)						
継続時事業の始期及び終期	基金の造成:平成25年度 基金の処分:平成26年度から令和4年度						
継続事業に要した経費の総額及び交付金充当額	継続事業に要した経費の総額				交付金充当額		
	5,566,640円				1,556,000円		
基金の造成及び処分	基金造成額(A)					基金処分額(B)	基金残額(A)-(B)
	交付金	市町村費等	その他	運用益	計		
	円	円	円	円	円	円	円
	39,006,000				39,006,000	39,006,000	0
継続事業の成果及び評価	令和4年度は、年末年始を除き週6日で一般公開を行った。 管理を行っている福生市郷土資料室が改良工事のため休館となったことから、郷土資料室の事務機能について6月から古民家に移し、委託で対応していた管理については直営で行うこととし、建物の維持管理や来場者対応を行うとともに、防犯、防火対策としての機械警備や、最低限必要な庭木の管理を行うことで、良好な状態で古民家を維持管理した。 また、これまで福生市郷土資料室で行っていた展示活動や子ども向け事業などについても、古民家にて行うこととし、これまで適正な維持管理を行ってきた古民家の活用をさらに図ることに努めた結果、来場者数は2,312人とコロナ前に迫る数まで回復し、認知度の向上にも寄与することができた。新しい事業にも取り組んだことで、新たな来場者も多い状況であったが、これまで適正な維持管理を行ってきた結果、それらの利用者からも建物や敷地の状況について、好評を得ているところである。						
継続事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:市民会館指定管理委託事業(基金)									
補助事業者名	福生市長									
実施場所	福生市福生2455番地									
補助事業の成果の目標	<p>本市では、市民の芸術文化や文化創造の拠点として、市民の心豊かな生活と活力ある地域社会の実現に向けて、地域での芸術や文化の振興を図るために福生市民会館を設置している。</p> <p>当施設の運営は、平成20年度までは本市直営によるものであり、当時の運営上、芸術や文化の専門的知識やノウハウに乏しく、時代に即した文化活動への取組ができなかったため、利用者や来館者からサービスの改善を求められていた。</p> <p>そこで、平成21年度から指定管理者制度を導入し、民間事業者の専門的知識やノウハウを生かして、行政では実施することが困難な取組を行い、地域住民が質の高い芸術や文化に触れることができる身近な施設として、引き続き、より一層のサービス水準の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 福生市の人口 :58,243人 (平成31年1月1日現在)</p>									
補助事業の内容	福生市民会館の維持運営									
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成25年度から令和2年度 基金の処分:平成26年度から令和5年度									
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)					基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続事業 に要した額		
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益				計	
		円	円	円	円	円	円	円	円	円
	25	80,000,000				80,000,000		80,000,000		
	26	207,223,000				207,223,000	78,500,000	208,723,000	84,623,000	
	27	60,304,000				60,304,000	77,000,000	192,027,000	84,578,000	
	28						80,000,000	112,027,000	84,032,800	
	29	37,973,000				37,973,000	75,000,000	75,000,000	85,508,000	
	30	100,000,000				100,000,000	75,000,000	100,000,000	84,364,000	
	元						60,000,000	40,000,000	69,124,750	
2	200,000,000				200,000,000	60,000,000	180,000,000	91,018,000		
3						60,000,000	120,000,000	82,741,500		
4						60,000,000	60,000,000	82,466,500		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価]</p> <p>施設利用者及び来館者に対してサービス水準の満足度についてのアンケートを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設内のスタッフの対応について、「非常に良い」、「まあまあ良い」を合わせて86%。 ・利用申込みの申請・チケットの購入などについて、「非常にスムーズ」、「まあまあスムーズ」を合わせて70%。 ・ホール・集会室などの清掃について、「非常に良い」、「まあまあ良い」を合わせて82%。 ・館内の案内表示の見やすさについて、「非常に良い」、「まあまあ良い」を合わせて67%。 <p>全般に「非常に悪い」、「やや悪い」という回答はほぼなく、利用者のサービス水準についての全体の満足度は非常に高いレベルである。</p> <p>よって、目標は達成できたと考えられる。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況]</p> <p>本事業について防衛省の交付金を活用して実施している旨を、市民会館ホームページ、教育広報「福生の教育」及び市民会館館報「イベントインフォメーション」に掲載して、周知を図った。</p>									
事業の改善措置及び今後の対応	無									
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無									

事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:英語教育指導助手(外国人)委託事業(基金)								
補助事業者名	福生市長								
実施場所	福生市内								
補助事業の成果の目標	<p>福生市では、本市の子どもに、自信と誇りを持たせ、グローバル化する社会においても、積極的に人とコミュニケーションが図れる資質・能力を育成する英語教育を展開することを重点目標としている。その目標達成の基幹となる本事業の推進のため、民間委託により外国人英語指導助手(ALT)を中学校に配置し、併せて小学校に随時巡回することで、児童・生徒が「話したいときや書きたいときに英語を使うことができる」という、より自然な学習環境を整備する。</p> <p>【参考指標】 令和4年度の各小中学校児童・生徒数(令和5年2月1日現在) 第一小学校:304名 第二小学校:415名 第三小学校:415名 第四小学校:257名 第五小学校:316名 第六小学校:334名 第七小学校:228名 (小学校計 2,269名) 第一中学校:451名 第二中学校:401名 第三中学校:217名 (中学校計 1,069名) (児童・生徒数合計 3,338名)</p>								
補助事業の内容	英語教育指導助手(外国人)の中学校常駐及び小学校巡回配置に係る業務委託								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成27年度から令和4年度 基金の処分:平成28年度から令和8年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続事業 に要した額
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	27	20,000,000				20,000,000		20,000,000	
	28	90,000,000				90,000,000	10,000,000	100,000,000	16,114,429
	29						10,000,000	90,000,000	15,035,642
	30						18,000,000	72,000,000	26,170,128
	元						18,000,000	54,000,000	23,471,565
	2						18,000,000	36,000,000	22,515,162
3						18,000,000	18,000,000	23,699,044	
4	80,000,000				80,000,000	18,000,000	80,000,000	24,425,489	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 【アンケート結果】 令和4年度は中学3年生と中学校教員を対象にアンケートを実施した。アンケート結果から、福生市の学習環境が整備されていると判断した。 ・英語の授業中によく英語を使いますか 中学生 87.0% ・ALTが英語の授業に来るのが楽しみ 中学生 80.0% ・ALTの英語はよくわかる 中学生 80.7% ・ALTの授業は児童・生徒の英語の力をつけるのに役に立つと思う 中学校教員 100% 【地域住民への周知の実施状況】 市ホームページ及び教育広報「福生の教育」に掲載した。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

事業評価書

補助事業名	住民の生活の安全に関する事業:通学路見守り委託事業(基金)								
補助事業者名	福生市長								
実施場所	福生市内								
補助事業の成果の目標	<p>児童・生徒が登下校中に犯罪や交通事故に巻き込まれる事件が全国的に後を絶たない状況がある。</p> <p>福生市内においては、不審者情報が頻繁に寄せられ、児童が怪我を負わされたりする事件等が発生している。また、これまでも児童の保護者や地域の方々が、自主的に登下校中の見守りを行っているが、地域の特性等や意識により、見守りの状況は、学校ごとに異なっている。</p> <p>このため、全児童が登下校中に犯罪及び交通事故による被害を受けないよう、全小学校の通学路において見守り体制を整備し、児童の安全確保を図る。</p> <p>【参考指標】 教育委員会に寄せられた不審者情報件数 実績 令和3年度 13件 令和4年度 13件(令和4年12月末現在)</p>								
補助事業の内容	通学路見守り員の配置及び巡回に係る業務委託								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成27年度から令和4年度 基金の処分:平成28年度から令和9年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金処分額(B)	基金残額(A)-(B)	継続事業に要した額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	27	20,000,000				20,000,000		20,000,000	
	28						10,000,000	10,000,000	11,167,540
	29	30,000,000				30,000,000	10,000,000	30,000,000	11,636,917
	30						10,000,000	20,000,000	11,941,505
	元						10,000,000	10,000,000	12,180,055
	2	20,000,000				20,000,000	10,000,000	20,000,000	11,469,860
3						10,000,000	10,000,000	11,402,223	
4	50,000,000				50,000,000	10,000,000	50,000,000	11,532,698	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 令和4年度においても学校や保護者を対象に見守り事業に関するアンケートを実施し、96%の方から「児童の通学が安全になった」との回答があり、継続して市民から一定の評価があったと考えている。 市に寄せられた不審者情報件数については、令和4年度は17件であった。見守り員に不審者情報を提供することで、より効果的な見守りを行った。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 市ホームページ及び教育広報「福生の教育」に見守り事業について掲載して、周知を図った。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:市立学校ICT推進事業(基金)								
補助事業者名	福生市長								
実施場所	福生市内								
補助事業の成果の目標	<p>福生市では教育の情報化を効果的・効率的に取り組み、魅力ある学校づくりを推進することを目的とし、「福生市立学校ICT推進計画」を推進する。 このことにより、市立学校においてICT機器を活用した授業等を展開し、児童・生徒の「学習意欲」「興味喚起」「理解促進」の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 令和4年度の各小・中学校児童生徒数（令和5年2月1日時点） 福生第一小学校：304名 福生第二小学校：415名 福生第三小学校：415名 福生第四小学校：257名 福生第五小学校：316名 福生第六小学校：334名 福生第七小学校：228名 (小学校計 2,269名) 福生第一中学校：451名 福生第二中学校：401名 福生第三中学校：217名 (中学校計 1,069名) (児童・生徒数合計)3,338名</p>								
補助事業の内容	市立小・中学校に設置するパソコンやタブレット端末の機器借上等								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成28年度から令和5年度 基金の処分:平成29年度から令和7年度								
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)						基金処分額 (B)	基金残額 (A)-(B)	継続事業に要した額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	28	12,200,000				12,200,000		12,200,000	
	29	44,000,000				44,000,000	7,980,000	48,220,000	9,981,468
	30	91,457,000				91,457,000	31,740,000	107,937,000	39,700,314
	元	35,566,000				35,566,000	53,390,000	90,113,000	66,766,818
2	80,000,000				80,000,000	63,540,000	106,573,000	79,475,211	
3						61,110,000	45,463,000	80,262,844	
4	133,250,000				133,250,000	60,490,000	118,223,000	75,647,382	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 令和4年度では、年次更新作業を終えた5月より個別学習用タブレット端末の利用を開始し、年度末に児童・教員・保護者へのアンケートを実施した。 回収した児童対象のアンケートにおいて、「iPadがあると授業がわかりやすいか」という設問では92%が肯定的な回答をしており、引き続きの導入効果があったと考えられる。 「iPadの操作に慣れましたか」の設問では「慣れた」との回答が81%、「iPadを授業でどれくらい使っているか」の設問では、週に2～3回以上の割合が6割を超えており、活用が進んでいると言える。 また「iPadをこれからも学校で使いたいですか?」という設問では97%が肯定的な回答をしており、iPadがあることで児童の授業への興味喚起や学習意欲の向上に寄与していると考えられる。</p> <p>小学校教員へのアンケートでは、iPadの使用について「週に1回も使わない」が14%程度にとどまっており、授業の中でiPadが浸透していることが伺える。また、操作に慣れたかの問いに対し9割が肯定的な回答をしており、習熟度が上がっていることが反映されている。</p> <p>保護者へのアンケートでは、「iPadを勉強で活用させたいか」との設問に対し「させたい」という回答は5割程度であるが、「させたくない」は1割未満となっており、全体的には肯定的な回答が多数を占めると判断できる。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 保護者宛て周知文書への記載、貸与品(タブレット端末・充電保管庫)への表示を行っている。また、市ホームページ及び教育広報「福生の教育」に掲載して、周知を図った。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

事業評価書

補助事業名	交通に関する事業:自転車等駐車場指定管理委託事業(基金)								
補助事業者名	福生市長								
実施場所	福生市内								
補助事業の成果の目標	<p>福生市では、駅前広場等における自転車の放置を防止し、交通安全、防災活動の確保並びに市民生活の安全を確保するため、市内JR路線5駅8か所において自転車等駐車場を設置している。また、おおむね300メートルの範囲内で必要な区域を「放置自転車等禁止区域」と設定している。</p> <p>専門的な知識を持つ指定管理者を置くことにより、施設の良い維持管理及び利用者のサービス向上を図り、駐輪場を多くの人に利用してもらうことによって、市内放置自転車等禁止区域における放置自転車台数の削減を目指す。</p> <p>【参考】福生市内放置自転車等禁止区域における放置自転車撤去台数 平成27年度 732台 平成28年度 747台 平成29年度 563台 平成30年度 569台</p>								
補助事業の内容	自転車等駐車場の管理・運営								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成30年度から令和元年度 基金の処分:令和元年度から令和5年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金処分額(B)	基金残額(A)-(B)	継続事業に要した額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	30	4,000,000				4,000,000		4,000,000	
	元	26,000,000				26,000,000	6,000,000	24,000,000	10,100,000
2						6,000,000	18,000,000	11,023,000	
3						6,000,000	12,000,000	11,016,000	
4						6,000,000	6,000,000	11,009,000	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 福生市内放置自転車等禁止区域における放置自転車撤去台数 令和4年度346台</p> <p>専門的な知識を持つ指定管理者が安定的に管理をしたことにより、施設の良い維持管理及び利用者のサービス向上が図られ、駐輪場を多くの人に利用してもらったことによって、補助事業開始当初より市内放置自転車等禁止区域における放置自転車台数の削減が図られた。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 本事業について防衛省の交付金を活用して実施している旨を、市ホームページ、市広報に掲載して、周知を図った。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業：地域体育館指定管理委託事業(基金)								
補助事業者名	福生市長								
実施場所	熊川地域体育館：福生市熊川380番地7 福生地域体育館：福生市武蔵野台一丁目8番地7								
補助事業の成果の目標	<p>スポーツ・レクリエーションの指導・普及、体育館の使用、施設等の維持管理等を専門的な知識・技術を活用できる指定管理者に行わせることにより、地域体育館利用者に質の高いサービスを提供する。</p> <p>【参考指標】平成29年度の利用者 熊川地域体育館：74,196人 福生地域体育館：161,878人</p>								
補助事業の内容	地域体育館の維持運営								
補助事業の始期及び終期	基金の造成：平成30年度から令和2年度 基金の処分：令和元年度から令和5年度								
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)						基金 処分量 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続事業 に要した額
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	30 元	70,000,000				70,000,000	42,000,000	28,000,000	63,544,608
	2	140,000,000				140,000,000	42,000,000	126,000,000	64,180,475
3						26,000,000	100,000,000	27,216,000	
4						25,000,000	75,000,000	26,231,989	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 利用者に対してサービス水準の満足度についてのアンケートを実施した。 ・教室事業のプログラム内容について、「非常に良い」、「まあまあ良い」を合わせて88.8% ・教室事業の指導員の指導・応対について、「非常に良い」、「まあまあ良い」を合わせて93.7% 全般に、利用者のサービス水準についての満足度は高いレベルである。 よって、目標は達成できたと考えられる。 なお、福生地域体育館については、令和4年度中、新型コロナワクチン接種会場となっていたため、基金の対象とはしていない。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 本事業について防衛省の交付金を活用して実施している旨を、市ホームページ、教育広報「福生の教育」に掲載し周知を図った。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

事業評価書

補助事業名	防災食育センター維持管理等委託事業(基金)									
補助事業者名	福生市長									
実施場所	福生市内									
補助事業の成果の目標	<p>福生市は、避難所・備蓄・応急給食機能等を有する災害時対応施設として防災食育センターを設置し、応急給食用の米4,500kg、汁物用乾燥具材45,000食分を備蓄している。平常時は、市内小中学校10校の児童生徒に安全・安心でおいしく、栄養バランスのとれた学校給食を安定的に提供していく。また、学校給食を提供する際に備蓄食材を使用し、入れ替えを行って、常に鮮度が保たれるよう管理し、災害時に市民へ応急給食を提供できるように備える。</p> <p>【参考指標】</p> <p>1 応急給食用備蓄米 4,500kg (15,000人×おにぎり2個×3日分)</p> <p>2 応急給食用汁物 45,000食分 (15,000人×1杯×3日分)</p> <p>3 令和4年度の学校給食喫食者数 (令和5年2月1日現在) 3,716人</p>									
補助事業の内容	防災食育センターの維持管理、学校給食の調理、配送等の委託									
補助事業の始期及び終期	基金の造成: 令和2年度から令和5年度 基金の処分: 令和3年度から令和7年度									
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)					基金処分額 (B)	基金残額 (A)-(B)	継続事業に要した額		
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益				計	
		円	円	円	円	円	円	円	円	円
	2	178,980,000				178,980,000		178,980,000		
	3	639,097,000				639,097,000	250,000,000	568,077,000	272,436,857	
4	251,923,000				251,923,000	250,000,000	570,000,000	295,998,110		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応急給食用備蓄米については、鮮度を維持するため、補充を行い給食調理に使用することで、4,500kgの備蓄を維持した。汁物用乾燥具材については、災害時等使用する機会がなかったため補充は行わず、45,000食分の備蓄を維持した。併せて、管理記録を作成し、保管することで有事に備えることができた。 ・令和4年10月16日、市の防災訓練の一環として炊飯訓練を実施した。 ・学校給食実施予定上限回数小学校192回、中学校190回に対し、令和4年度は小学校平均189.7回、中学校平均187.7回実施した。 ・小・中学校10校の児童・生徒全学年及び毎日喫食する教職員に対しアンケートを実施し、給食が「おいしい」、「まあおいしい」及び「普通」を合わせた評価は96%であった。特に、災害時にも炊飯する「ごはん」については、「いつもおいしい」、「ほとんどおいしい」及び「普通」を合わせた評価は96%と高評価であった。全体の給食に対する満足度については、「満足している」及び「普通」を合わせた評価は93%であり、学校給食に対する満足度は高いレベルである。 <p>以上のことから目的は達成できたものと考えられる。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕</p> <p>本事業について防衛省の交付金を活用して実施している旨を、市ホームページ、教育広報「福生の教育」に掲載し周知を図った。</p>									
事業の改善措置及び今後の対応	無									
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無									